

第2回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1)日 時：令和5年7月14日（金）午後7時より、（教育会館 第1研修室）

(2)参加者：準備委員20名（2名欠席）、事務局7名、報道2名、傍聴2名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②報告事項

・各部会から

③協議事項

・新中学校の校名選定について

・制服・体操服の選定について

《委員長あいさつ》（省略）

委員長 ・早速レジュメに従って進めたいと思う。では、まず事務局より、今日の会議内容について説明をお願いします。

事務局 ・それでは本日の会議内容について説明をさせていただく。お手元の資料の1枚目次第の方をご確認いただきたい。はじめに2の報告事項として、第1回の再編準備委員会を4月27日に開催させていただいたが、その後各専門部会を開催してきたので、その部会の内容の報告を各部会長からお願いしたいと思う。その後、協議事項として、新中学校の校名の選定についてと制服・体操服の選定についてご協議をいただきたいと思う。以上、本日この2点について審議を進めていきたいと思うので、どうぞよろしくお願ひしたい。

委員長 ・では、説明にもあった通り、報告事項そしてその後協議事項という流れで進めたいと思う。お手元の資料確認はよろしいか。全資料記載の通りに添付されているかと思う。では報告ということで、まずPTA部会からよろしくお願ひしたい。

《報告事項》

部会長 ・PTA部会の方より報告させていただく。第1回目PTA部会は5月23日に開催させていただいた。第1回目ということで今年度新たに委員になられた方々も多数おられるということでまずは昨年度のPTA部会の経緯についての説明をさせていただいた。ここで改めてその内容について少しかいつまんでご報告させていただく。昨年度のPTA部会での検討事項については主にスクールバスに関してである。スクールバスの発着場、運行方法並びに運行ルート、主にこの3点について検討を進めてきた。まず発着場については、勝山高校周辺の交通混雑状況及び近隣住民への方々への配慮等でジオアリーナの駐車場を発着場として利用するという事になった。次に運行方法だが、現在市の方で運行されている公共交通機関によるハブ方式と直行方式という2つの方式を検討させていただいた。結果直行方式を軸に進めていくが、地区や状況によってはハブ形式の可能性も残しておくという形になった。そして運行ルートだが、お手元の資料の1-1と1-2をご覧いただきたい。昨年度の検討ではジオアリーナから3km以遠の生徒を対象に考えさせていただいた。バス停までを1kmと想定した

8ルート案が資料1-1になる。バス停までを500mと想定した10ルート案が資料1-2になる。この運行ルートについての検討を進めてきた。これらについて新委員の方々にご説明をさせていただいた後に今年度より新たに検討事項として提案いただいた内容についての検討討議に入らせていただいた。新たな検討事案は、お手元にある資料2をご覧ください。昨年度までは3km以遠の生徒を対象にスクールバスを検討してきたが、勝山高校周辺の交通状況及び通学路の状況や雨雪の日の保護者の送迎の負担をなくすことを想定してさらに1.5km以遠の生徒を対象にしてスクールバスの利用ができないか、さらには1.5km以内であっても希望があればバスを利用できるようにしたいという提案をいただいて今年度の検討に入った。部会で委員の皆様からは、送迎を減らすにあたっての数値目標といったものが必要なのではないかとか送迎があるということを受け入れた上での校舎設計にすべきではないかという意見がある一方、バスを用意しても乗らない生徒、また自転車を利用したいという生徒、または乗りたくても乗れない生徒もいたりして多様なニーズに配慮すべきであるというような意見もいただいた。バスに乗れる環境を整備したので、乗ってほしいといったとしても絶対に乗らないといけないとは言えないし、自転車も絶対ダメだとは言えない。結果、最終的にはアンケートなども必要なのではないかなというような意見もいただいた。さらには、必要とされるバスの台数、運転手の数を鑑みると永続的に可能か否かの検討も必要で、公共交通機関との併用も考えていく必要がある。高校生の乗車や発着の時間や便数も検討していく必要もあり今後これらの材料を十分に検討していこうということになった。ちなみに、今ほど説明させていただいた3km以遠1.5km未満における想定される生徒数の数については資料3の方に記載してあるので、ご参照いただければと思う。以上が、第1回目のPTA部会で検討させていただいた内容の報告となる。

委員長 ・いろいろな観点からご検討いただいている。これは報告ということでご質問等は特によろしいか。では続いて施設整備部会についてよろしく願いたい。

部会長 ・施設整備部会は、6月29日に開催した。今年になって委員に変更があったのでこれまでの経緯を中心に述べさせていただいた。基本計画にある7つぐらいの案をもとにプロポーザルが進んでいることを説明させていただいた。勝山高校の特別教室については、県が計画しているリノベーションということもあるのでそれに向けてどうするかということも協議してきた。中学校を勝山高校の南側に設置するが、同時に特別教室の配置も考えることで、より中高連携の活動を促進していこうという形で進めている。資料4の方をご覧ください。これは昨年度の部会での意見や、今年度開催している教職員と語る会でいただいたご意見の抜粋である。中学校の校舎と地下通路については、6月22日にプロポーザル審査会を実施し、選定業者が木下設計・石黒設計事務所・株式会社技研設計 勝山市立中学校建設基本設計等務設計協働企業体として決まった。今後契約を結び

皆様の意見を基に基本設計に反映していくように進んでいきたいと思う。次に、備品等の調査について方向性を議論した。資料5をご覧ください。令和9年度までに3中学校にある備品を精査しどういう備品を新しい中学校に持っていくのか、それとも廃棄するのかについて整理を進めていく必要がある。今年度は現状を把握したいということで、各学校に調査を依頼することになった。ただ、どういう調査にしていくかについては、今後の検討ということになっている。ご意見としては、備品でないものや歴史的なものについてどうすべきかという意見もあるし、教員の負担も考えた意見交換を行った。

- 委員長
- ・最後の備品でないものや歴史的なものをどうすべきかを聞いて思い出したが、県の教育博物館があるので、もし、廃棄しようということになったら、廃棄せずにぜひそこへ納めていただけるといいのかと思った。捨ててしまうとそれで終わってしまうので大事にさせていただくといいと思う。
 - ・では私の方から総務部会と学校運営部会の報告をさせていただく。第1回総務部会は、6月7日に開催した。学校運営部会の方は、5月19日に第1回、第2回が7月6日である。主な協議内容としては、総務部会では、新中学校の校名の選定、学校運営部会では主に制服・体操服の選定についての協議である。この内容についてはこの後、レジュメ3番の協議事項なので詳しい説明はまたそちらの方でさせていただきたいと思う。
 - ・では4部会の説明等について質問、ご意見等はあるか。
 - ・特にないか。では、報告事項は終えて次の協議事項に入りたいと思う。事務局の方からまず議題について説明をお願いします。

《協議事項》

(新中学校の校名選定について)

事務局 資料8. 校名選定スケジュール(案)について説明

資料6. 校名選定要項(案)について説明

- ・目的
- ・選定方法
- ・募集要件
- ・投票要件
- ・校名の発表

資料7. 校名応募用紙(案)について説明

- ・募集内容
- ・募集期間
- ・応募方法
- ・留意事項
- ・校名の決定

- 委員長
- ・まず目的の方に新中学校が目指す生徒増と新中学校が目指す学校ということでお考えいただいているのでありがたい。やはり常にこれが原点というかスタートかなと思うので毎回このように出していただけるといいと思う。選定方法だが2の(3)と(4)は、どうする、こうするではない部

分かと思うので、まず（１）の募集と（２）番の投票の部分。募集と投票はあちこちに行くので、まず（１）の募集、その下の３ 募集要件でここについてご質問とかご意見があれば、それ終わったら次の２の選定方法では（２）、募集要件では（４）になるが、投票の方法についてまたご意見を伺うようにしたいと思う。ではまず資料６の選定要項の３ 募集要件（１）から（６）でご質問、ご意見があったらお願いしたい。ちょっとした疑問が実は大事なこともあるので遠慮なくどうぞ。

委員 1 ・応募資格の勝山市外にお住まいの方で上記学校の卒業生ということで（４）にもつながってくるが、そちらの方への周知はどうされるのか。これを見ると、インターネットの場合、募集チラシに添付したとか所定の応募用紙は郵送とかと言うがその辺はどういう考えか。

委員長 ・（２）の３ポツ目。勝山市外にお住まいで、上記学校卒業の方はどのようにそのことを知っているのか。今のご指摘については、いかがか。

事務局 ・現時点では、インターネットによる勝山市のホームページに情報を掲げてご覧いただくということを考えている。どれだけの方が頻繁にホームページを見てくださるかということはなかなか難しいが、個別に県外にお住まいの方々にご案内をするということがなかなか難しいのでインターネットでの周知という形にさせていただきたいと考えている。

事務局 ・事務局から付け加えだが、今未来創造課の方で勝山市のふれあい市民という制度があって勝山市の出身者であるとか勝山勝高会、東京勝高会、関西勝山会などの方に月 450 通ほど広報を送付している。今、こちらの方で承認いただければこのチラシを今回広報に織り込むのでそういった方のところへは届くようになると考えている。

委員長 ・よろしいか、他にはいかがか。今、応募資格と応募方法についての質問だったが、それ以外の（５）、（６）も含めてということかどうか。

委員長 ・他は特にないか。では次にいってよろしいか。４の投票要件で選定方法で言うと（２）になる。ここについていかがか。特にご意見ご質問ないところのまま行ってしまう。引っかかった部分とか気になるところがあったら言っていただいた方がいいかと思う。

委員 2 ・イメージするスクールカラーをこのオレンジ系とかチェックを入れると思うが紙でもらう方はイメージできるのか。また何個も選んでいいのか。イメージカラーは選んだ人が多いとそれになっていくのかという気がするがその辺はどう考えているのか。

事務局 ・現在の３中学校はそれぞれスクールカラーを持っている。これが統合すると果たして何色のものを作っていくべきなのかということがおそらくこの後議題になってくるだろう。その時に改めてどんな校章がいいですかとか、何色がいいですかということをお尋ねすることは二度手間三度手間になるので、ここである程度のご意見を聞かせていただけたらなという思いで合わせてお尋ねするというふうに考えている。ここで数が出てきて全く違う色にするということはなかなか難しいというふうに思う。それを参考にとということになるがここに何々系と書いたが、色もいろいろあるので幅を持っ

てある程度こういった感じの色というご意見がある程度集まれば、その方向で考えていくと感じている。いずれかにチェックをしてくださいというふうに書かせていただいている。実際にあれもこれもという返事も出てくるのかと思うが、こういう色が多いんだな、という傾向を見るという意味では多少いくつか選んでおられる方があってもそれなりの集計はできると考えている。基本的には、一つ選んでください、という指定でいきたいと考えている。

委員長 ・スクールカラーはその色を見るとその学校を思い出すという部分があると思う。いずれこのスクールカラーを見ると我が母校勝山はまだ決まっていないが中学校を思い出したり、勝山を思い出したりというところにつながるかと思うのでいい色になるといいと期待をしている。ぜひいい色になるといいなと勝山のみんなが一つになるように期待をしている。他に、投票要件のところで質問はないか。

委員 3 ・投票要件の(3)で留意点があるが「必要事項に記入漏れがあるものなど、不備がある場合は無効とする」のこのなどというのは、どういったものを想定しているのか。

事務局 ・校名なので、基本的に学校名がきちんと書かれていればそれでいいことになる。あまりないと信じたいが不正に落書きのようにいっぱい書いてあるものとか名前は書いてないのに応募しているとか場合によっては同じ名前前のものが住所がなくて何枚も出てくるとかこういった場合については数の中からは抜かせていただこうと思う。

委員 4 ・4 投票要件の(2)の対象となる市内教育機関(小学校、中学校、高校及び特別支援学校)に在籍する児童・生徒という部分で、兄弟がいる家庭があると思うが、生徒1人につき1票という形で考えているのか。

事務局 ・子ども達に投票してもらおうという根本の趣旨があり、今から自分たちが入っていく学校、あるいは高校生とか年上の立場から見ると自分たちの学校、その新しくできる学校に対して、自分が何らかの参画をしたというような思い出を持ってもらいたいということである。そういった意味では兄弟がいる方でも基本的に1人1票という形をお願いしたいと考えている。

委員 5 ・得票数が多いもの数点がこの投票で選ばれる。兄弟が多く同じ意見になったとしても1人1票ということなのか。

事務局 ・実際あくまでも想定だが、候補として10点くらいの候補の中から子ども達の投票である程度のもに絞り込んでいく。最終的には大人の手になるという形の段階を踏みたい。

委員長 ・他いかがか。
・ではいくつかいただいたご意見を踏まえて、それを反映した上で選定していくということよろしいか。

(領き多数)

・特段異議なしということで、よろしくお願ひしたい。

(制服・体操服の選定について)

委員長 ・では協議事項の(2)制服・体操服の選定についてに移りたいと思う。事

	務局お願いしたい。
事務局	資料 9. 服装のあり方検討事項（案）について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討方法 ・ 制服・体操服アンケート要件 ・ 投票要件 ・ 発表 資料 10. 制服・体操服アンケート（案）について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 期間 ・ 対象と回答方法 ・ その他 ・ アンケート項目
委員長	・ 最初説明のあった資料 10 のアンケートの項目とか実施時期、対象、回答方法等についていかがか。初めてご覧になる方もご覧になっている間に一言いいか。Q4 の 2 行目後半の「どの学年の生徒も新旧」この旧とは何か。現在のことで何か我々の着ている服は旧なんだみたいな、少し寂しい嫌な気持ちになるなどと思って表現を考えていただけるといい。新しい制服あるいは現在の制服とか。
委員 1	・ 例えば通学カバンとかを統一します、となった時に令和 7 年からその通学カバンでやる予定か。イメージとして中学校だと校章を入れるとか分かるようにするとなるとそれまでに校章も決めていかななくてはいけないのかなと思う。結構スケジュールがきついかなど思っているがどういったスケジュールで流れていく予定か。
事務局	・ 制服については、今申し上げたように、令和 7 年からの導入ということを考えて令和 6 年 1 年間をもってということ、今年度中に決めると考えている。ご指摘のように校章を何か入れてとか何か別のファクターをくっつけてものを作らなくてはいけないということになるともしかしたら間に合わないかもしれない。場合によってはそれは遅らざるを得ないことになろうかと思う。ただ制服等の話だけではなく、令和 7 年の 1 年生の子のことを考えると 9 年に一緒になったときにそれぞれの学習内容なり、経験なりはできるだけ揃えてあげたいという思いはある。可能な限り令和 7 年の入学のお子さんについては新しい方針で進めたい、努力はしたいと考える。繰り返しになるが、場合によっては間に合わないものも出てくるかなとは思っている。
委員 2	・ アンケートと投票との関わりが少しわからない。アンケートを取った後に投票をするというのは、制服の種類だけを投票するような形か。
事務局	・ 具体的に申し上げると何かこのアンケートで皆さんの思考を縛ってしまうということにならないように自由に答えていただきたいという思いがある。想定をした場合にお考えいただきたいと思うがアンケートの結果、例えばブレザーがいいという数が非常に多くなった場合にはブレザーといってもいろいろな色や形や組み合わせということがあるのでアンケートの次の段階として学校運営部会の方で、ブレザーというアンケート結果が

多いがブレザーの形でいいですね、という確認が行われる。そしてブレザーを作ってくれる会社はどこかありませんかということをご公募してその会社からブレザー型の制服を例えば3点なり、4点なり候補を挙げていただく。その候補のうちどれがいいですかを投票していただく。イメージとしてはそんな形である。必ずしもブレザーになるわけではないのであくまでも今の話は想定としてそんな感じかということである。

委員3 ・内容、例えばその制服があった方がいいとかなくてもいいとか毎日着用するというのを投票で決めることではないという理解でよろしいか。アンケート内容を全部投票で決めるということではなくて投票はあくまでもそういう考え方を問うものにするのか、ものをどれがいいですかを選ばせるものなのか。

事務局 ・実際今の子ども達にもいろいろ聞いて回っているし先生方にもいろいろ聞いているが制服がない方がいいという答えは今のところほとんど聞いていない。そういうことを考えると、おそらく制服があった方がいいということになるのではないかと思うが、場合によってやはり制服はない方がいいよという答えも我々は無視していくべきではないという考えからこういったことを聞いていくべきである。配慮した上で、ものを考えていかななくてはならないということでその考え方自体をここで問うている。

委員4 ・要は二重ではないかなと思った。アンケートで聞いたことをもう一回投票で聞くというのは同じ回答をする。投票とアンケートがどういうふうに関わってくるのかを知りたかった。今の答えで大丈夫。

委員長 ・アンケートは一枚目のその他の部分の三つ目になるか。結果をもとに服装のあり方を検討します、結果により制服・体操服を決定するものではありません、というのはまずここを皆さんにお伝えしておいた上で可能性として制服はなくてもよいというのが極めて多かったら、この投票ということとはなくなる。制服という話になればどんなものにしようかという具体物に入っていく。どれがいいですかみたいなもう少し目に見えるものとして選ぶということになる。

委員5 ・資料9の6、資料は校名になっているが制服ではないか。本当に細かいが、そうした場合決定した服装というよりも、決定した制服はの方がいいのではないか。

委員6 ・関連してだが、資料9の表題が勝山市立中学校設置に係る服装（制服・体操服）だから服装（制服・体操服）が1つの括りだと思う。だから6は服装（制服・体操服）の発表、それから決定した服装の次に（制服・体操服）を入れていただくという形が一番落ち着きがいいかなと思う。

事務局 ・本当に申し訳ない。何回も直しているのに元に戻ってしまった部分だと思う。今のご指摘のように言葉の使い方を統一した方がいいと思う。もちろん間違えていることは直さなくてはならないがその直し方として、表題の服装（制服・体操服）という形でその表記を統一したいと思う。

委員長 ・今の6の発表でいうと決定した制服はではない。服装に関する決定事項か何か。これだと制服ありきになってしまう。アンケートを実施する前の段

階で決定した服装はという表記はおかしいと思う。

委員 7 ・投票要件の(2)の中ポツの一番下の④の区分のところだが園児と入っているが園児は投票の資格がないと思う。これは何とも言えないが先ほど服装(制服・体操服)と話があったが、そうなるとアンケートの表も新しい中学校の制服・体操服アンケートになっているのでここも直さなくてはいけないと思うがどうか。

事務局 ・園児の方は直し落とし、一回直しが入っていたが私の方で元のものが出てしまって誠に申し訳ない。早速直させてください。チラシの方だが、実はここのところはいろいろに変えていて新しい中学校の服装(制服・体操服)もあるし新しい中学校の服装についてご意見をお聞かせくださいみたいなことで一度提案させていただいたものもある。いろいろあるがなかなかこのチラシという性格上、あまり長い文面をタイトルに書くと非常に分かりにくいというか、見づらいという面があってあえて制服・体操服アンケートと使わせていただいた。ここのところは見栄えという意味で、お許しだけないかと思う。

委員 8 ・資料9の大きい2 検討方法の(4)の決定のところここでここに投票結果を参考に学校運営部会で選定し再編準備委員会において決定し市教育委員会に報告するという手順が書かれている。この学校運営部会で選定というのは、完全に1つ最終候補に絞り込んで再編準備委員会でそれによって決定するというものなのか、2つ3つ候補を選定し再編準備委員会で1つに決定するのか、この辺のイメージを教えてください。

事務局 ・今のご質問だが、基本的に考えているのは学校運営部会の方で、1つに決めるということで最終的にこれでいきたいと思いますというふうにご了解いただくということを想定している。例えば子どものアンケートをした時に非常に拮抗しているというようなことが出てくるかもしれない。そういった場合については実はこのような数になっていて学校運営部会の方でもこの件に関しては全体でやった方がいいのではないかなというようにご意見が出てくれば再編準備委員会で決定いただくというようなことであろうかと思うが、今事務局が想定しているのは学校運営部会で1つに絞れたらいいと思っている。

委員長 ・どんな内容であれ、審議経過を含めての再編準備委員会へのかけ方になるのかと思う。

事務局 ・補足として学校運営部会の皆様方には説明させていただいたが、この制服とか体操服については本来は学校が決める、学校があればその学校が指定していくものである。ところが学校が未設置であるのでこの準備委員会の皆様方が新しい学校の代わりに決めるというような位置づけだということをお知らせいただければと思う。

委員 9 ・一応最終候補を1つに絞り込んで選定してそれを再編準備委員会で決定してもらおう。ただ、選定の段階で1つに決めきれない場合もあるということをご理解させていただいた。

・資料10で文字面のことで大変恐縮だが、制服・体操服アンケートの対象と

回答方法というところがある。そこの5行をおりたところだが各園・小・中・高等学校に配布の布は多分特定だからにんべんにすんの方がいいのかもしれない。また一度精査してほしい。

- 事務局
委員 10
- ・これについても、つけるの方で全て統一をさせていただく。
 - ・今回勝山高校との連携型中高一貫ということで新しく今ここで決めていくということだが、勝山高校の既存の制服とか体操服と全く違うものが今回採用されるということになると思う。前例として過去にこういったところでその時に弊害というのは今までどこかであるとかないとかは聞いているのか。例えば極端な話だが今回だったらもし体操服がいらぬとか制服がいらぬとか、着るときも状況に応じて大丈夫だとなったときに勝山高校が制服を着ていないと授業を受けられないという現状があるとするならその辺の弊害は出てくるのではないかと考えてそういうことは何も考えずに決めていけばいいということではよろしいか。

- 委員長
事務局
- ・高校がどうあろうと中学校だけで決めればいいのかということか。
 - ・制服の話というよりもこの連携型中高一貫教育という考え方の説明になるかと思うが、いわゆる高志中・高志高校のようにそのまま全員の子がスライドしていくという学校とは連携型の場合は少し様子が違って、基本的にはそれぞれ中学校と高校は独立したものである。ただ一緒にやった方が効率がいいとか効果が上がるという部分については一緒にやってみましょうということなので基本的な考え方としては別の学校の別のルールで動いていると考えるべきだと思っている。ただ同居している状況なので例えば中学生は全くフリーに自由にやってきて、高校生は制服を着ているというようなことになるとすると、なんとなく違和感を感じるようなことは出てくるのかなという個人的な思いはある。実際そういった事例を自分が承知していないのでこういった不都合が起こってくるということは説明しにくい。

- 委員長
- ・高志中のことでいうと、中高一貫で動いたわけだが制服に関していうと、中学生が着る夏の方は、薄い緑色が入っている。極めて遠目に見ると区別はつかないが、近づくときちょっと薄く緑が入っている。スクールカラーが緑なので、中学校3年間が終わると高校に入るが、薄い緑は着れなくて、普通の高校生と同じ全く白い夏の制服になる。高志の場合も中学校で買ったものを高校卒業まで6年間というのではなかった。東京大阪の中高一貫は本当に同じようなことをやっている学校もあるし学校によってそれぞれ考え方が違う。必ずこうであるとか、こうでないといけないというのはない。

- 委員 11
- ・中学校と高校はルールが全く一緒ではないと思っている。高校もお互いに中学校の様子ももちろん同居して感じるから、今基本、校則などは生徒たちの意見でどんどん変わっているのです。そういうことを高校生も感じると私たちもちょっと考えようよというような流れになるのではないかと予測する。今ここでどうなるかというのはもちろんわからないがそういう流れも起こってくるのではないかと思う。

- 委員長 ・逆に可能性としてだが、せっかく時間をかけて制服を決めたのに何年かすると中学生たちが高校はあんなのだからという声を出すかもしれないし高校が変わるかもしれない。そこは動き出して何年かすると変わっていく可能性はあるとは思う。そういう議論が大事かと思う。
- 委員 12 ・制服を決定するというのほどこまで決定するのか。体操服を決定するというのほどこまで決定するのか。例えばデザインなりを決めるなら当然この形でとって見本がないとわからない。セーラー服にするかブレザーにするかまでの投票なのか、体操服を使いますよという決定なのか、この体操服にしますよという決定なのかが聞いてわからなくなった。
- 委員長 ・ただ校長先生がいないので、ここが校長先生代わりで決めるということだから具体まで入ってくると思っている。
- 事務局 ・先ほどもご説明したが、アンケートでどういう形のものがいいのかというところまでを決める。こういった形あるいは作る作らないを含めて決める。アンケートでこういうものがいいですね、という方向になれば具体的にこの柄のこの形の服というのを投票で決める。
- 委員 13 ・デザインまでこっちで作るのか。
- 事務局 ・本当に具体的にいうとアンケートで例えば詰襟の服を決めた、セーラー服でいきたいと思いますと決めた。そうしたらどの形がいいですかということを経営者に具体的なものを提案してもらおう。青色の詰襟とか黄色の詰襟とか具体的な実物を提案してもらってどれがいいですかを選んでもらう。
- 委員 14 ・その部分がこの決定までのところに入った方がわかりやすいのではないか。プロポか何かで決まった時点で業者に実物を出してもらってと入れる。
- 委員長 ・検討方法の（２）の仕様を定めというところが、今事務局が言った部分だろう。（４）の決定は、具体的に例えばマネキンか何か実際に着ているものがあるということになる。
- 委員 15 ・プロポーザルに出すとかは入っているのか。
- 事務局 ・企画提案業者を募集しというところがその部分になる。
- 委員長 ・どんどん意見を出していただいた方がみんなの理解が深まる。
- 委員 16 ・細かい話だが、資料 10 の小学生が読みやすいようにふり仮名が打ってあると思うが、打つなら裏も打った方がいいと思った。
- 事務局 ・実はこれはこの紙に丸を打って返してもらうことはない。QR コードでフォームに入る。その上でフォーム上に仮名が打てるのかどうかは、不安はあるが、できるだけ読みやすいような表現にしてあげたいと思っている。もう一つはその下のところに仮名を打っても 3 年生ぐらいの子は意味がわからない。読めても何のことかわからないということがあるので小学生の皆さんについてはお家の方と相談をしてお家の方に説明をしていただきながら答えてくださいね。というような文言を付け加えさせていただいている。ご指摘の部分についてはできる限り技術的なことがよくわからないが何とかしたいというふうに思う。
- 委員長 ・今事務局が説明されたことも最初に説明していただくとよかったのかもし

れない。

委員 17 ・体操服の変更ということでいうと勝山高校が体操服の変更をされるように聞いている。これは意見だが今勝山高校の方で、玄関のところに体操服がいくつか並んでいると子どもに聞いていて、どれも今一つ自分が着たいという体操服がないみたいな話をしていたのを聞いた。今回でいうと、例えば体操服も絶対変わるだろうし制服の方もブレザーになる可能性もあるというところでせっかくブレザーになって体操服が変わるところに案が出てきたらどれも今一つだなみたいなことにならないように、ここでいうと検討方法の候補選定のまさに先ほど質問があった企画提案業者を募集して数点の候補を選定するというところだと思うがこのところでみんなががっかりするような候補しか出てこないということにならないようなことを期待する。

委員長 ・学校運営部会の人センスにかかってしまうところがあってみんな少し自信がないかもしれない。その日までに皆さん、センスを磨いておきましょう。

委員 18 ・今の話で学校運営部会の男女比率でいうと、男性がほとんどになっていてこういった制服とかの関係だとやっぱり女性の意見というのも大切にしたいと思うが、その辺、どのようにお考えか。

委員長 ・前回もほとんど男性で事務局の一人だけが女性だった会もあった。別の会の時に一緒しかいらっしやらなかった。お二人入っていただくことになるのか。ただつい年齢の出るものというか皆さんとしても親御さんの的な立場で選ぶから若者の感覚とずれる可能性は極めて多い。

委員 19 ・それで投票というのものもある。

事務局 ・数だけ申し上げると学校運営部会の方は、3名学校運営部会に入っていた。今ほどのご意見で女性の意見もぜひということであればまた別途加わっていただくとかここにいらっしやる方以外で女性の方ということか、そのようなこともそれも視野に入れて検討していく。それからもう一点、今日、実は情報提供ということで直接この議論とは関係はないが、勝山高校の生徒の皆さんがグループごとに自分たちの探究の成果を発表するというのをした。その中の2つのグループの子たちが新しい中学校についての提案を自分たちがするというような発表をした。見にいかせていただいたが自分で考えて、とても素晴らしい発表だったと思う。そういった高校生とか、中学校の生徒会とか、そういったところにも可能な限り意見が聞けたらいいなというふうには考えている。ただ好き、嫌い、というのがあってどれを選んでもという部分は難しいなと感じている。

委員長 ・他県の例でいうと、高校生とか中学生が実際に自分でデザインしているというケースもあるが、時間的に余裕はないのかと思ってはいる。極力生徒の感覚に合うように近づくようにということで事務局が人選を含めて準備いただければと思う。

委員 20 ・細かいことかもしれないが子どもと一緒にやると考える中で、Q-1.4の4番に詰襟、セーラー服、ブレザーのいずれでも選択できるようにするとあ

る。子どもがこれがいいと言われたときにはデザインを全部の型で取ってもらって全部作るというイメージでよろしいのか。そのように子どもに説明すればいいのか。

事務局 ・基本的に子ども達の思考を縛らないというかこれありきでどれかを選んでいただくというよりは幅広く意見を聞くというふうに、このアンケートは取らせていただいている。ただ、ご指摘の部分というのは、果たしてそれが可能なのかということで現実問題として可能なのかということ。

委員 21 ・そういう意味でいうと、5番もなかなか自由すぎてこれがいいと子どもに言われたときにどういうふうに進めていくのかということがある。アンケートでもし答えが多くなって実現になっていくのであればその方策とかどういうふうに進めるというのも考えておいていただければなと思った。

事務局 ・アンケートで上げる以上は、選んでもできないよというものを上げていくということは至ってナンセンスの話であるのでもしこれが本当にそこに多いという数になってくればその方向で検討していく必要があると思う。

委員 22 ・難しいのであれば6のその他があるので5はあえて書かなくてもいいのではないのかと思った。

委員長 ・目指す生徒像に多様な他者と協働してとある。他者は多様なんだというのを実感する部分でもいいのかなと思っていた。本当に気持ちを聞く上ではいいのかなと思って、むしろ事務局がこの選択肢を入れたというのがすごいなと思う。今のご意見は5がなくてもいいのではないかという意見だが、いかがか。

委員 23 ・取らなくてもいいと思う。多様な意見で逆に5番だと、こちらはこんな感じというのだけを決めて後は好きにしてくださいって言うので特に協議は難航しないかなと思っている。

委員長 ・取らなくてもこのままでもよろしいか。このままでいかせていただくということで、他はいかがか。

委員長 ・全然違うことでよろしいか。資料10の中学校の学校順だが、これは行政順か。南部中、中部中、北部中というこの順番は行政順であると。なぜ南部が一番で北部が最後だということはないか。
(事務局より行政順でこのならばよいとの頷きあり)

委員長 ・他にお気づきの点とか特によろしいか。ないようだったら、たくさんご意見をいただいたと思うが、特に文字のミスは直していただかないといけな
いかと思う。ご意見いただいたものを踏まえて修正してこのままそれで進んでいくということで、よろしいか。

(頷き多数)

委員長 ・本当に今日、特に制服の方でいろいろなご意見をいただいて感謝。今日、予定されている協議事項がこれで終わったわけだがその他ということ、お集まりの皆さんから特に何かないか。僕の関係している部会のところではないが、資料4を見ていて気になったことがあったので言ってよろしいか。資料4の各先生方からのポツ上から6番目、不登校や特別支援の子がそっと入れると書いてあるがそっと入らなくてはいけないような雰囲気

は良くないのではないか。特に特別支援の子がそっと入らなくてはいけない空気はよくない。新しい中学校はそうなるのではないと思うが、先生方の中にそう思っている方がいらっしやって、そのままの感覚でいくと、特別支援の子がそっと入らなくてはいけない雰囲気になってしまうのはどうか。普通に正々堂々としていけばいいと思うので少し気になって引っかかった。もう一つ、そこから5下がると階ごとに壁にテープの本数で区別というのはどういうことか。

事務局 ・これは要するに、いろいろな生徒がいて自分が今何階にいるのかよくわからない生徒がいるのではないか。だから、テープの色や本数で分けてあると、ここは何階かがわかるのではないかというご意見だった。

委員長 ・了解した。その本数が1階は1年生、2階は2年生とかそういうことかなと思って子どもから出てきた意見ならいいのだがこれはそういうこと。区別ということが少し引っかかった。区別が差別につながったりもするので少し気になるなどと思ってそういう配慮があったということではわかった。いつも申し上げているが大多数さえよければいいではなくて本当に苦しんでいる子たちも、是非普通に座れる学校であってほしいなど思っている。

委員 24 ・おそらくだが不登校、特別支援の子がそっと入れる場所があるといいというのは、普段は多分、正門から出入りしているが、たまに気持ちが不安定になった時に正門以外からの入り口があってそっと入れる。そういう選択肢があるといいということだと思う。

委員長 ・それはそれでいいが、文字面でしか見ていないと心配な部分もあったので申し上げた。是非その部分も含めて検討していただけたらと思う。では事務局の方にお返しする。

事務局 ・今日いただいたご意見やご指摘などを踏まえて校名、制服・体操服については修正した要項に沿って今後選定作業等を進めさせていただきたいと思う。市民の皆様のご意見をいただきながら素晴らしい学校名、制服・体操服が選ばれるように今後とも委員の皆様のご理解とご協力の方をよろしくお願ひしたい。次回は、10月末か11月に3回目を予定している。日程等を調整してご案内させていただくのでどうぞよろしくお願ひしたい。以上で第2回の勝山市立中学校再編準備委員会を終了させていただく。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

資料1. 資料1. スクールバス（直行方式案）

資料2. スクールバス通学について（案）

資料3. スクールバス利用人数（案）

資料4. 新中学校校舎・特別教棟への意見抜粋

資料5. 備品等調査内容と方向性（案）

資料6. 校名選定要項（案）

資料7. 校名応募用紙（案）

資料8. 校名選定スケジュール（案）

資料9. 服装のあり方検討事項（案）

資料10. 制服・体操服アンケート（案）